

別紙2

配合設計等記入用紙

◎太枠内を記入してください。『※』印がある箇所は、必ず記入してください。

◎容積合計が、目標空気量と合わせて1,000Lになることを確認してください。

※学校（学科）名							
※供試体の愛称							
使用材料	銘柄および産地	種類	容積 (L/m <sup>3</sup> )	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	単位量 (kg/m <sup>3</sup> )	※供試体作製日	月 日
※ 水						※供試体送付日	月 日
※セメント							
※細骨材						※供試体送付までの養生方法	
※粗骨材						※養生温度	℃
※混和材 <small>一般名（材質）も記入する</small>						練り容積	L
※混和剤			—			練り混ぜ時間	
※その他						練り混ぜ方法	
合計							
配 合			フレッシュコンクリートの試験結果				
※水セメント比		%	※スランプ又はスランプフロー			cm	
※細骨材率		%	※空気量			%	
空気量		%	※コンクリート温度			℃	
スランプ又はスランプフロー		%	※創意・工夫した点				
※混和材使用率 <small>何に対する使用率が明記する</small>		cm					
※混和剤使用率 <small>何に対する使用率が明記する</small>		%					
※デザインの説明							
供試体 No.	No. 1	No. 2	No. 3	平均	ばらつき		
圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )							
単位容積質量 (kg/m <sup>3</sup> )							
審査委員コメント							